JAPIA-East
マンスリーレポート
Nov. 2026

10月はハッカーによる企業へのサイバー攻撃とそれに伴う個人情報漏洩が相次ぎました。こうした犯行は決して許されるものではありませんが、AIの急速な普及により犯罪の手口も巧妙化・悪質化していると実感します。現在の「人工知能」は、人間が膨大な時間とコストをかけて生み出した英知の結集です。AIとの共存共栄こそが、明るい未来を築く鍵になるのではないでしょうか。今月も会員企業との共存共栄を目指す東日本支部から、最新情報をお届けします。

支部の活動を中間報告　支部運営委員会

10月7日、本部の齋藤会長も出席する中、生田支部長を議長として支部運営委員会を開催しました。委員会では、事務局から本年度上期の事業実績と下期の業計画を報告し、それぞれ承認されました。特に今年度は、中小企業委員会の設立や、山形市で開催する東北交流会（部工会非会員を対象）などがあることから運営委員に対しては、改めて支部活動への「協働」と活動への「理解浸透」が求められました。これらの活動予定や結果は、引き続きマンスリーレポートや支部のウェブサイトでお伝えしていきます。

「世界の自動車産業は分断する」　ブロック化する世界での戦略は？

上記委員会後、運営委員だけでなく全会員を対象に、『「CAST」で読み解く自動車産業新時代』と題する講演会を開催しました。講師のオートインサイト㈱ 鶴原吉郎代表から、世界の自動車販売台数は2027年に9600万台程度でピークに達しその後は緩やかな減少に転じる一方、自動運転モビリティを中心とするサービス収入の増加により、自動車産業は成長産業であり続けるとの予測を踏まえ、新たなキーワード「China、AI、SDV、Trump」について、最新動向と鶴原代表の分析を伺い、ブロック化する世界での戦略立案のポイントを参加者とともに考えました。

本部中小企業施策委員会と支部会員の座談会　神奈川で初開催

10月8日、本部中小企業施策委員会と支部中小企業会員との座談会が横浜で開催されました。支部からは公募で集まった8社が参加し、人材不足や取引適正化をはじめ、各社が抱える課題などについて中小企業施策委員と意見交換を行いました。本年4月と6月に続く開催で、神奈川での開催は初めてとなります。前回に続いて参加した会員企業も複数あり、本活動の浸透を実感する機会となりました。座談会後の懇親会では参加者同士が和気あいあいに交流を深め、会員間のネットワーク拡大の機会ともなりました。次回の座談会は来年2月4日に群馬県高崎市で開催予定です。詳細が決まり次第、皆様にもお知らせします。

DXの出発点は「このままでいいのか」との思い　中小企業現地研修会で

10月26日、DX推進（午前）と外国人材の活用（午後）をテーマに中小企業現地研修会を㈱カネコ（千葉県浦安市）で開催しました。同社は従業員35名の締結部品メーカーで、AIを積極的に活用して新規顧客を増やすとともに、スリランカ、ベトナム、フィリピンから人材を受け入れ、売上を大幅に伸ばしています。その「秘訣」を参加者とともに学びました。同社の金子雅一代表取締役は、実際の管理画面を投影しながらDXによる業務効率化の現状を説明、参加者からの質問にも丁寧かつ具体的に回答しました。参加者からは、今後の経営改革や業務改善に向けて多くの示唆が得られたとの評価をいただきました。支部では今後もテーマを変えながら、先進的な取組みや創意工夫により業務を効率化している中小企業を訪問する現地研修会を継続して開催していきます。

JAPIA Japan Auto Parts Industries Association
発行：一般社団法人日本自動車部品工業会東日本支部　〒108-0074 東京都港区高輪1-16-15
電話：03-3445-4212（代）　E-mail：kanto@japia.or.jp　https://www.japia.or.jp/
©Japan Auto Parts Industries Association (JAPIA) All Rights Reserved.

物流を経営課題として考える　その第一歩は「見える化」

10月28日、㈱ローランド・ベルガー 小野塚征志シニアパートナーを講師に迎え「物流を経営課題として考える」と題する講演会を開催しました。物流危機をチャンスに変えるために自動車部品メーカーが今取組むべきことについて、現状分析に加え、例えば、管理体制の見直しにより物流の効率化を図った自動車部品サプライヤーの事例なども織り込みながら具体的な説明がありました。小野塚氏はサプライチェーン全体を最適化する必要があることを指摘し、そのためには物流の現状の「見える化」、最適な状態への「変革」、自律的に最適化する「仕組み化」の重要性を訴えました。

日本自動車工業会（自工会）との連携強化方針を確認　10月理事会で

10月22日、本部理事会が名古屋で開催されました。東日本支部からは生田支部長のほか、副支部長を含む理事（支部運営委員）14名が出席し、新規加入会員の承認、令和8年度上半期事業報告と上半期収支決算、令和9年度税制改正要望が審議され、全ての議案が承認されました。また、自工会との連携強化に向けた取組みの状況や、総務委員会、国際委員会、総合技術委員会、中小企業施策委員会の各委員長が令和8年度上半期の活動について報告しました。

11月に7社が新規入会　東日本支部会員の輪　さらに広がる

10月理事会での承認を受けて、11月1日付で下記の7社が支部に加わりました。今年度の新規入会はこれで20社となり、コロナ禍で会員数が落ち込んだ2021年3月の208社から268社まで増加しました。会員の皆様のお知恵とご協力をいただきながら、引き続き様々な課題に取り組んでいきたいと考えています。「数は力なり」です！

新規入会企業

①㈱池田製作所	群馬県太田市（ブレーキ、サスペンション、他車体部品） URL：https://www.ikeda-mfg.jp/
②NOK Group ㈱	東京都港区（シール製品をはじめとする工業用機能製品） URL：https://www.nokgrp.com/
③(一財)カケンテストセンター	東京都中央区（自動車部品等の試験検査） URL：https://www.kaken.or.jp/
④坂本工業㈱	群馬県太田市（吸排気系、燃料系製品の製造・販売） URL：https://www.sakamotonet.co.jp/
⑤日軽金ALMO㈱	東京都港区（パラレルフロー型コンデンサー、パワーデバイス冷却器、鋳造サスペンション） URL：https://www.nikkeikinalmo.co.jp/
⑥水戸工業㈱	東京都千代田区（ガススプリング、バンパー、オイルジャッキ、サイドバイザー） URL：https://www.mitokogyo.co.jp/company/
⑦㈱湯原製作所	栃木県さくら市（金属配管部品、切削部品、ロー付・溶接部品） URL：https://yuhara.co.jp/

※社名五十音順

11月は群馬県や栃木県の企業にもご入会いただきました。地方のサプライヤーにもぜひ部工会に加わっていただきたく、会員の皆様からもご紹介をお願いします。部工会はティア1だけの団体ではありません。ティア2・ティア3企業にもご入会いただき、会員各社の競争力強化やサプライチェーン全体の強靭化について、皆様とともに考えていきたいと思います。

支部	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026 11月	20⇒26 増加率
東日本	208	209	230	243	245	252	268	28.8%
中日本	85	85	89	92	92	93	90	5.9%
西日本	77	77	80	83	83	87	90	16.9%
計	370	371	399	418	420	432	448	21.1%

※2020～2025は各年度末での会員数

☆　☆　☆　☆　☆　☆　☆

11月の予定（東日本支部）

4日（水）工場見学会（㈱アーレスティ山形）
同日（水）山形交流会・懇親会（山形市 ヤマコーホール）
10日（火）中小企業委員会（ウェブ）
13日（金）工場見学会（リケンNPR㈱／柏崎工場・剣工場）
14日（土）スーパー耐久シリーズ2026 観戦会（富士スピードウェイ）
17日（火）正副支部長連絡会（ウェブ）
19日（木）正副会長会議（ハイブリッド）
20日（金）講演会（サーキュラーエコノミー、トヨタ紡織㈱）

JAPIA Japan Auto Parts Industries Association
発行：一般社団法人日本自動車部品工業会東日本支部　〒108-0074 東京都港区高輪1-16-15
電話：03-3445-4212（代）　E-mail：kanto@japia.or.jp　https://www.japia.or.jp/
©Japan Auto Parts Industries Association (JAPIA) All Rights Reserved.